

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

【 評価基準 （ 最新版 ） : 平成28年6月改訂 67項目 】

① 第三者評価機関名

名 称	(株) 第三者評価 http://daisansha.lolipop.jp/fukushi
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪
訪問調査日	訪問調査日 2019年2月25日 (月) 改善状況確認日 2019年3月14日 (木)
評価調査者 3名	HF05-1-0098 リーダ III章担当 吉山 浩 HF10-1-0002 I・II章担当 加藤 文雄 HF15-1-004 A章担当 主任保育士
保護者アンケート実施	2018年11月 回収率 100 % (回収 149 / 配付 149)
評価結果確定日	2019年3月23日 (土)
WAMNET結果公開日	2019年3月23日 (土)

② 保育園情報

名称: 宝塚さくら保育園	種別: 保育所
代表者氏名: 恒松 静香 園長 木村 由美子 主任保育士 大山 彩 主任保育士	定員 (利用人数): 180名 (193)名
所在地: 宝塚市高松町13番2号	
TEL (0797) 77-3390	ホームページ: http://www.t-sakurahoiku.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日: 1993年 (平成5年) 4月1日	
経営法人・設置主体 (法人名): 社会福祉法人 宝塚さくら福祉会	
職員数	常勤職員: 25名 非常勤職員: 41名 (内常勤的非常勤21名)
専門職員	保育士 47名 栄養士 3名
	調理師 1名
設備等の概要	教育・保育室 (0～5歳児)・遊戯室兼ランチルーム・相談室・職員室・調理室・職員更衣室、屋外遊戯場 (園庭)

③ 保育理念・保育方針・保育目標

保 育 理 念

子どもの尊厳を保持しつつ、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに育成するように支援する

保 育 方 針

一人ひとりの子どもを大切に保育

保 育 目 標

- ・ 元気でいきいきと遊ぶ子ども
- ・ 思いやりがあり仲良く遊ぶ子ども
- ・ 自然に親しみ、物を大切にする子ども
- ・ 自分の気持ちを素直に表現したり、人の話もよく聞ける子ども
- ・ いろいろな物を創造し工夫する子ども
- ・ 「食」に関して興味を持ち、楽しみ合う子ども

④ 宝塚さくら保育園の特徴的な取組

(1) 園庭やホールといった広い場所を活用し、意欲的に参加して楽しめるような遊びの提案や環境を整え、のびのびと体を動かして遊ぶことができるように心がけている。

- ① 体を使った遊びが充実するように、遊具や運動器具などを多く取り入れ、子どもの年齢や発達に即した遊びや活動となるようにしている。
- ② 園庭を異年齢のクラスで交流や関わりが持てる場としても考え、異なった年齢の子ども同士が関わり、遊びが展開できるような環境を提供している。

(2) 子どもの様々な性格や個性を認めながら、一人ひとりを大切にすることを心がけることで、子ども同士のお互いを認め合う気持ちが育つようにしている。

- ① 保育園の定員人数が180名と多いことから同年齢の友だちが多い。自分とはちがう相手のことを受け入れ認め合うことができるよう、その場の状況に合わせて保育士が介入することで、子ども同士の関わりが良いも

のとなるようにしている。

- ② 毎月1回の交流行事として『なかよし会』を行い、担当保育士が、同年齢や異年齢の友だちに対して、思いやりの気持ちを育むことができるような内容を考えている。

(3) 年間行事計画の中に、季節ごとの行事や遠足、観劇や交流事業など、日常の保育の中だけでは経験できないことを大切にしている。

- ① 園外に出ることや、地域の方々との交流や外部から演者を招いくことで、様々な人と触れ合う機会を設け、子どもの幅広い経験を目的とした活動を取り入れている。

(4) 裸足で過ごすことによって、足の裏から脳への刺激となり、五感の発達につながるようにしている。

- ① じかに冷たさや熱さなどの刺激を感じるにより感覚が養われ、細かく反応できるようにする。
- ② 土踏まずの形成を促し、しっかりとした歩行につながることで足への負担が軽くなり、充実した遊びや運動ができるように裸足保育を取り入れている。
- ③ 衛生面や安全面に十分配慮し、裸足で過ごすことができる環境となるようにしている。

(5) 3歳児から5歳児を対象に、定期的に外部から講師を招き、様々なことを教わり、体験する機会をつくる。

- ① 『体育遊び』では、様々な体育用具を使っての運動遊びの指導があり、5歳児では、「スポーツチャンバラ」指導で、日本の伝統武道を体験し、礼儀作法を学び心技体も鍛えることができる。
- ② 『英語であそぼ』では、外国人講師により英会話や英語の歌、ゲームなどに参加しながら英語に触れることができる。
- ③ 『キッズダンス』では、様々な動きを丁寧に教えてもらうことで、楽しい時間を過ごすとともに、手足の動きや体重移動を習得し、音楽に合わせて体を動かすこと、表現を楽しむことができる。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年9月1日（契約日）～ 平成31年3月23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回目（初受審）

⑥ 総 評

◇ 特に評価の高い点

- (1) 年度毎に「保育の内容に関する全体的な計画」を策定して取組み、①適切な福祉サービスの実施、②保育実践、③子ども本位の福祉サービス、④保育の質の向上、⑤園の改善 の項目について各職員による「保育園の自己評価」を実施して、「自己評価見直し改善」としてまとめ、次年度の全体計画に反映させる、PDCAサイクルに基づいた保育の質の向上に関する取組が行われています。
- (2) 改訂『保育所保育指針』に則って作成された「全体的な計画」は、当園の「保育理念—子どもの尊厳を保持しつつ、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに育成するように支援する」を具体的に実践するために、きめ細かく作成されています。また「保育目標」は「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を分かりやすい表現でまとめ作成しており、説得力、発信力があります。
- (3) 職員間で、それぞれが自主研究会の参加などで学びを深めたことを園内研修に積極的に取り入れ共有を図ったり、子どもや保育について活発に話し合う風土（同僚性）があります。日常的には、職員間の対話を通じて保育内容をすり合わせ、異年齢交流をしあうなど自然な連携が行われています。
- (4) 受審に際し、2名の主任保育士は、園長をサポートしての仕組み構築、『評価基準』、『保育所保育指針』への振り返り、職員の取りまとめ等、日々の多忙な保育の合間を見つけての準備に苦勞されたようです。また、保護者アンケートへの対応、第三者評価者への説明に緊張の瞬間も経験されました。取組み後6カ月で、その努力が実りの時期となり、自信が育ち大きく飛躍されました。
- (5) 宝塚市で唯一の休日保育を実施されています。
 休日保育： 日曜日・祝日に常態的に保護者が就労などにより家庭で保育することができない児童をお預かりします
 実施日時：日曜日・祝日（12月31日～翌年1月3日除く）
http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/027/922/20190220kyuujiuannai.pdf
- (6) 「男性保育士が多く、体を使った遊びも取り入れてくれる」と保護者アンケートで絶賛されていました。父親のような、頼れる兄貴が5人居て、大活躍しています。また、寒い冬も暑い夏も園長が、朝夕はいつも玄関で明るく出迎えると、保護者から絶賛されていました。

▼ 改善を求められる点（b 評価となった1項目）

評価基準 22番 II章-3-(1)-② 着眼点 ⑤ 外部監査は実施していません。

（参考）会計監査人の設置義務法人の範囲 <当法人は、収益10億円を超える規模迄、至っていません>

厚労省の平成28年10月21日実施 第5回 社会福祉法人の財務規律の向上に係る検討会での通達 より、
平成30年度 収益30億円を超える法人 又は 負債60億円を超える法人
 平成31・32年度 収益20億円を超える法人 又は 負債40億円を超える法人
 平成33年度 収益10億円を超える法人 又は 負債20億円を超える法人

⑦ 第三者評価結果に対する宝塚さくら保育園のコメント

保育園が開園してから、25年間の歳月を積み重ね、当たり前になっている対応について第三者評価の結果から新たに教わったこと、気付かされたことが多いと感じた。理念や方針を基に子どものことを思いながら進めているが、表に出し保護者に伝える必要や、自身の保育の意味や大切さを違う視点から見つめ直すこともできた。また、保育園の運営自体が保護者に受け入れていただいているということも見え、全職員の自信や励みにもなった。

結果というより、今回第三者評価を受けることで一から見つめ直すこと、流していたようなことを1つ1つ立ち止まり、しっかりと見渡しすすめるということができ、今後の園運営の基盤となるものが、全職員に少しずつでも培われたように思える。職員一人ひとりが自らの役目に気付き、組織の一員であるという自覚にもつながったのではないかと思えた。

⑧ 各評価項目に係る第三者評価結果 別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>＜コメント＞</p> <p>理念、基本方針が明文化されており、「園のしおり」・「ホームページ」等に記載して周知しています。 「一人ひとりを大切にする保育」を保育方針として、職員の行動規範としています。理念や基本方針は園内研修・職員会議等を通しての確認や日常的に目につく場所に掲示して周知が図られています。 保護者には「入園のしおり」等により説明されています。 訪問調査2/25（月）の際に、職員一人ひとりの脳裏に保育理念・保育方針・保育目標が刻み込まれているか暗誦を求め、確認しました。</p>		

アウトカム評価 ＜ 取り組み方法、結果に対する評価 ＞

Ⅰ-1-(1)-① ⑤ 理念や基本方針が保護者等への周知が図られている。

⑥ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。

2018年11月実施 保護者アンケート結果より （総数 149 家族） 回収率 $149/149 = 100\%$

設問1 宝塚さくら保育園の理念・方針をご存じですか？

回答 ⑤よく知っている 18 (12.1%) ④まあ知っている 63 (42.3%) ③どちらともいえない 25 (16.8%)
②あまり知らない 31 (20.8%) ①まったく知らない12 (8.1%) ①未記入 0 (0%)

年齢	⑤	④	③	②	①	①	①	計
0歳 ひよこ組	2	9	6	1	0	0	0	18
1歳 うさぎ組	2	13	3	8	2	0	0	28
2歳 パンダ組	6	7	5	9	3	0	0	30
3歳 くま組	3	10	3	4	3	0	0	23
4歳 きりん組	5	10	5	6	3	0	0	29
5歳 ライオン組	0	14	3	3	1	0	0	21
合計	18	63	25	31	12	0	0	149

⑤よく知っている 18 (12.1%) + ④まあ知っている 63 (42.3%) = 合わせて 81 (54.4%)

* 改善したいレベルです。

特に ①まったく知らない 12 (8.1%) ②あまり知らない 31 (20.8%) * どげんかせんといかんとです

今後の取り組み方の一例

AA 想定する周知状況になっているか? BB どの程度の周知状況が目標なのか?

毎年、『理念』や『方針』の保護者への周知状況を保護者アンケート等で確認し、取り組み方法の妥当性を確認すると共に、⑤よく知っている + ④まあ知っている で合わせて 何%程度を目標値とするのか園内で議論され、数値による目標管理も合わせてご検討下さい。【 数値目標があると知恵が深まります 】

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 社会福祉協議会会報（経営協）、保育協会発行「保育界」、市の園長会等から情報を得ると共に「市の子ども・子育て支援事業計画」や保育事業課と連携して策定内容や待機児童数等を把握しています。 また、「月次資金収支報告」等を通じて、コスト分析や利用者の推移、利用率等の確認を行い理事長に報告して対応しています。 参考) 宝塚市次世代育成支援行動計画（子ども・子育て支援事業計画）[H27～H31] http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kyoiku/kodomokeikaku/1027217/1010843.html 「宝塚市次世代育成支援行動計画たからっ子「育み」プラン（子ども・子育て支援事業計画）」 平成26年（2014年）12月作成 計画期間 平成27年（2015年）～平成31年（2019年） http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/010/843/keikaku_zenbun.pdf		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 保育園の現状に対して「園の自己評価」を職員が個別に行い、分析して具体的な課題や問題点を明らかにして、改善に取組み、進捗状況の確認も行われています。（H30年度自己評価集計ファイルにて確認） また次年度の課題について担当を決めた「改善計画」を策定し、職員に周知すると共に理事長と共有しています（H31年度改善計画、文書管理台帳ファイルにて確認） 節水・光熱費・消耗品の節約を行い、職員にコスト意識を持たせる取組も進められています。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
--	--	---------

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<コメント> 発展させたい面、現状維持等を意識した項目で「中長期5カ年計画」を策定して、事業計画、当年度予算、人事考課による育成計画等立てて取組み、定期的に振り返りも行われています。また、設備においては、15年後の園舎建替えまでの「長期修繕・改修計画表」も策定されています。 【 中長期5カ年計画の主な内容 】 2019年度 実施予定 ……働き方改革 保育実践研修 わらべうたリズム 園庭玩具の充実 2020年度 実施予定 ……新規採用者研修の充実 自発的な遊びの保証 知育玩具購入、子育て相談 2021年度 実施予定 ……保育の質を高める研修 玩具入替え ヒヤリハット習慣化、園からの発信		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<コメント> 「中長期5カ年計画」を踏まえて、その年度の「事業計画、当年度の予算、人事考課による処遇計画、育成計画等を策定して取組み、定期的に振り返りを行っています。 【 当該年度 平成30年度計画の主な内容 】 実施済 …… 体育指導・ダンス指導・英語体験 AED使用方法研修 園庭開放 実施予定 …… 第三者評価受審中		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<コメント> 職員会議やミーティングで話し合った内容を園長、主任保育士が意見を集約、反映させて「事業計画」を策定し職員会議やミーティングで周知しています。（「全体計画」、「事業計画」で確認） また、全職員が個別に行う「園の自己評価」等での評価・見直しも行われています。さらに計画実行直近での掲示等で職員へ再確認させる取組みも行われています。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<コメント> 「事業計画」の保護者への周知は入園時、クラス懇談会等で保育の様子も分りやすいよう資料「しおり」を作成し、説明して周知、理解を促しています。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 教育・保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉓・b・c
<コメント> 年度ごとに「保育の内容に関する全体的な計画」を策定して、「保育園全体の自己評価」、「保護者アンケート」を行い、主任保育士が中心となり改善策を取りまとめて教育・質の向上に組織的に取り組んでいます。 特に、毎年実施している「保育園全体の自己評価」を通じて、①園の保育の全体像を描き出すか ②どのように園のあり方を改善すべきかを探り出し、実行に向けていくかを園長・主任保育士を中心に検討し摸索されています。（全体計画、H30年度自己評価集計、H31年度改善計画、にて確認）		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育園として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉓・b・c
<コメント> 園の自己評価、保護者アンケート、第三者評価における自己評価結果から現状の把握と課題を取りまとめ職員会議で周知しています。課題についてはクラス単位で職員から「改善提案」を募り、「改善計画書」にて各課題を分野別担当者に振り分けて取組み、進捗状況の確認、見直しも園長、主任保育士で実施しています。（自己評価集計ファイル、改善提案書、改善計画書にて確認）、		

評価対象II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉓・b・c
<コメント> 園の経営、管理に関する方針と取組み方法を、「全体的な計画」「事業計画」「園のしおり」等で明確にし、職員会議等で説明しています。また、園長の役割と責務は「職務分担表」に明記され、有事（災害、事故等）責任者が園長であること、不在時の権限委任（主任保育士）等についても明記されています。		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉓・b・c
<コメント> 園長は法令遵守、社会的ルール、モラルの遵守を率先し、遵守すべき「法令一覧表」を作成して、職員会議等を通じて周知しています。また、市の園長会、保育協会主催の研修会等に参加しています。 訪問調査2/25（月）の際に、職員一人ひとりの脳裏に関係法令が刻み込まれているか暗誦を求め、確認しました。 職員が回答した関係法令の一部抜粋：		

①子ども・子育て支援法 ②児童福祉法 ③社会福祉法 ④個人情報保護法 ⑤労働基準法 ⑥労働安全衛生法 ⑦消防法 ⑧児童虐待の防止等に関する法律 ⑨食品衛生法 等		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 教育・保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉑・b・c
<コメント> 「保育指導計画」を毎月添削して、アドバイスをを行うと共に状況を観察して計画通りに実施しているか確認しています。これらの他「園の自己評価」「職員の自己評価」「保護者アンケート」等から課題の分析を行い理事長に報告、助言等も参考にして保育の質の向上に取り組んでいます。また、職員から「改善提案」を募り、取りまとめた職員会議で「採用、次回採用、検討項目」に分類して周知して改善に取り組んでいます。職員会議後の園内研修や2分に分けての午睡中を利用した研修、園外研修への参加も実施しています。		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	㉑・b・c
<コメント> 職員業務の現状把握と課題を他施設からの情報収集結果も参考に対応しています。経営の改善や業務の実効性の向上に向けた課題や対応を職員会議で周知して分野別に担当者に振り分けて取組み、進捗状況の確認、見直しも園長、主任保育士で実施しています。		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉑・b・c
<コメント> 人事の計画に基づいた専門職の配置、人員体制について法人内での職員移動、人事考課等を行い、人材確保や専門職の育成(コーチング研修、キャリアアップ研修等)が実施されています。また、養成校やハローワークへの案内や就職説明会への参加等の人材確保のための活動も実施されています。		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉑・b・c
<コメント> キャリアパス、人事考課があり、「職務分担表」に基づき「期待する職員像」を明確にした人事制度と処遇改善制度が実施されています。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉑・b・c
<コメント> 有給休暇の取得状況、時間外労働、疾病状況等を記録し把握しています。職員のストレスチェックも実施しています。(H30年12/14付けの実施報告にて確認) 個別面談や、日頃も相談受付を行い相談しやすい環境としています。休暇取得の促進、短時間勤務の導入、時間外労働の削減や免除等働きやすい職場づくりや各クラスに担任を配		

置して職員のコミュニケーションが取りやすい環境を作っています。

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	(a)・b・c
----	-----------------------------------	---------

＜コメント＞

『職務規程』、『職務分担表』で基本姿勢やなすべき業務を明確にしています。個別面談で職員一人ひとりができる目標を設定して、計画を作成して研修への参加等が行われています。設定した目標等については「自己評価」にて進捗の確認後、期末の面談にて目標達成度の確認と新たな目標の設定を行っています。

18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	(a)・b・c
----	---	---------

＜コメント＞

「職務分担表」になすべき業務（期待する職員像）が明記されています。自己評価表に職員に求める専門性を明示して個人の経験や志向、適性をふまえた教育・研修が実施されています。園長、主任保育士による研修報告内容や研修の効果等を評価分析して、研修内容の見直しも行っています。保育士が自分の力量に自信を持って、幼児教育・保育を行えるように、園は職務に相応しい力量を備えるための研修等の仕組みを整え、保育士の自信が育つように配慮されています。

19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	(a)・b・c
----	-------------------------------------	---------

＜コメント＞

個々の経験や志向、適性、個人面談等から一人ひとりの「研修計画」を作成して職場研修や市・県・保育士協会・社会福祉協議会等の外部研修に参加しています。外部研修に参加するためのシフトや勤務状況を勘案した配慮もされています。

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	(a)・b・c
----	---	---------

＜コメント＞

『保育実習生規定』を整備して体系的なプログラムも用意されています。主任保育士が担当できない場合、代理の者を指名し、指導者としての研修も実施しています。

【 直近3カ年 実習生受け入れ実績 】

平成30年度 5人、 平成29年度 6人、 平成28年度 5人

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉑・b・c
<p>＜コメント＞</p> <p>ホームページにおいて情報公開がされており、苦情内容や結果はプライバシーを考慮した上で、園内に掲示しホームページにて公表もできます。</p> <p>また、法人の理念、基本方針やビジョン等については園庭開放、地域交流等、地域貢献の取組みの中で園のあり方や活動内容等を記載した「パンフレット」等を配布しています。</p> <p>【 法人HPや財務省表等電子開示システムによる情報公開状況 】 2019年2月25日現在 （ 社会福祉法改正に基づく ）</p> <p>① 貸借対照表、② 収支計算書、③ 現況報告書、④ 役員区分ごとの報酬総額、⑤ 定款 ⑥ 役員報酬総額</p> <p>参考) 社会福祉法人の財務省表等電子開示システム http://www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/pub/PUB0200000E00.do</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p>＜コメント＞</p> <p>法人の「会計基準」が定まっており、「経理規程、細則」等のルールについて職員に周知し、決算報告等も職員に開示されています。法人の監事による内部監査も実施しています。</p> <p>ただ、評価基準 II章-3-(1)-② 着眼点 ㉕ 外部監査は実施していません。</p> <p>(参考) 会計監査人の設置義務法人の範囲 <当法人は、収益 10 億円を超える規模迄、至っていません> 厚労省の平成 28 年 10 月 21 日実施 第 5 回 社会福祉法人の財務規律の向上に係る検討会での通達 より、</p> <p>平成 30 年度 収益 30 億円を超える法人 又は 負債 60 億円を超える法人 平成 31・32 年度 収益 20 億円を超える法人 又は 負債 40 億円を超える法人 平成 33 年度 収益 10 億円を超える法人 又は 負債 20 億円を超える法人</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉑・b・c
<p>＜コメント＞</p> <p>地域との関わりについて「年間の指導計画」に組み入れ地域交流、地域貢献が行われています。</p> <p>近隣の公園や病院の案内、病児保育、病後児保育、近隣児童館情報誌の掲示や紹介して保護者に提供しています。散歩に出かけた際の近隣の方とのあいさつをとおした交流や、地域の祭り等に参加して子どもと地域の交流を広げる取組を行っています。</p>		

24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	㉑・b・c
<p>＜コメント＞</p> <p>ボランティア受入れに関する基本姿勢、登録手続き、配置、事前説明等の項目やトライやるウィーク、体験学習等での学校教育等への協力等について明文化した『ボランティア受け入れマニュアル』（2018.5.7）を整備して、マニュアルに基づき研修、支援を行っています。</p> <p>【 直近3カ年 ボランティア等受け入れ実績 】</p> <p>平成30年度 6人、平成29年度 10人、平成28年度 13人</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育園として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
<p>＜コメント＞</p> <p>近隣小学校、医療機関、自治会、老人施設等のリストや地図を作成し、また、市の子育て子育てガイド「たからばこ」の情報を職員室に配置して情報の共有化を図っています。毎月開催の「ブロック別幼保小中連携会議」に参加すると共に訪問指導、医師のカンファレンス等の取組みも行っています。市や家庭相談室を主体とした専門機関とのケース会議にも参加して、連携が図られています。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育園が有する機能を地域に還元している。	㉑・b・c
<p>＜コメント＞</p> <p>園庭開放（毎週木10:00～12:00）、体験保育、夕涼み会、運動会等の地域開放行事やごはん塾、歯科衛生士の講演会、親子体操等を開催して地域へ参加を呼びかけています。また、園庭開放時を利用して「子育て相談」の場も作っています。災害時における役割等については避難施設とはなっていないが「宝塚市社会福祉協議会（防災）」としてその役割を認識しています。また宝塚市給食施設研究会スタッフとして参加し、地域の活性化にも取り組んでいます。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉑・b・c
<p>＜コメント＞</p> <p>市保育課、子育て支援センター、家庭児童相談室と連絡を取りながら福祉ニーズの把握に努め、民生委員と関わりキャンペーン（オレンジリボン運動）への協力も行っています。また、保育体験、子育て相談を開催しています。保護者送迎、近隣住民等の事故防止のため交通整理の警備員を置いて交通安全活動にも取り組んでいます。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した教育保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>理念、方針などについての資料を配布し、保育室にいつでも見ることができるよう貼りだしたり、教育・保育現場で実現するために「全体的な計画」を基に計画を立て、日々の教育・保育を行うようにしています。</p> <p>また、『園の統一事項』や『各種マニュアル』をファイル1冊にまとめ各保育室に配備し、園内研修時に園長や主任・副主任保育士が説明を行って、子ども一人ひとりをしっかりと見ていくようにし、一人ひとりに合わせた教育・保育を心掛けています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した教育保育が行われている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>「全体的な計画」に人権尊重の姿勢が示されており、『プライバシー保護（子どもの羞恥心に配慮）規程』に明示しています。小ホールトイレの前についたてを置いたり、園庭のシャワーを使用する際には、外から見えないように目隠しのカーテンを設置したりして、設備面での工夫を行っています。</p> <p>不適切な事案が発生した場合の対応方法は、『プライバシー保護規程』の第7条に明記しています。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育園選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>市や園のホームページに保育園選択に必要な情報を掲載し、「保育園案内」や「入園のしおり」は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでも分かる内容にし、配付しています。</p> <p>入園時や年度途中の見学の時は、個別に丁寧に説明を行って、園の案内を行っています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 教育・保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>入園時は、市の冊子を使用し分かりやすく説明し、契約内容の変更時は、その都度、手紙や貼り紙や口頭にて変更箇所を詳しく説明しています。保護者への説明後に、内容を理解した旨のサインを「入園の同意書」に頂いています。退園時についても市の手続きにそって対応を行っています。</p> <p>宝塚市役所HP 保育施設利用のご案内</p> <p>http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/027/922/20190101nyuusyoyoannai.pdf</p> <p>宝塚市役所HP 教育・保育施設入所中の保護者の皆様へのお願い</p> <p>http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/027/922/20180901nyuusyosyaannnai.pdf</p>		

32 III-1-(2)-③ 保育園等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 a・b・c

<コメント>

市の入園、退園、転園の手続きに沿って対応されており、一時保育についても『マニュアル』があり、手順を明記しています。卒園・退園・転園後も主任保育士や元担任が窓口となり、退園時や5歳児のクラス懇談会の時に、その後の相談方法や担当者について記載した文章を渡しています。

III-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。

33 III-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 a・b・c

<コメント>

日々の保育の中で、子どもの様子から満足度を把握したり、送迎時や連絡ノートなどで意向を徴収しています。夕涼み会、運動会、おたのしみ会（生活発表会）などの大きな行事の後にアンケートを取っています。

今回、実施した2018年11月の保護者アンケート結果は、100%の回収率（149件回収/149件配布）で、その内容は、以下の如く、極めて高い保護者満足度となっていました。また、いくつか園への要望を頂きましたが、職員で協議し、「平成30年度 保護者アンケートを受けて 改善計画書」を作成し、直ぐに実行する事、次年2019年度より実行する事とDEADLINE（時期）を明確にして計画しています。

2018年11月実施 保護者アンケート結果 クラス別 満足度比較表

年齢・クラス	回収	配付	回収率 (%)	総合満足度 (5点満点)
0歳 ひよこ組	18	18	100	4.9
1歳 うさぎ組	28	28	100	4.7
2歳 パンダ組	30	30	100	4.6
3歳 くま組	23	23	100	4.7
4歳 きりん組	29	29	100	4.8
5歳 ライオン組	21	21	100	4.9
合計	149	149	100	平均 4.8

★ 全てのクラスの満足度が高く、平均値 4.8 は 極めて高い満足度です。

☆☆☆ 保護者が感じている “宝塚さくら保育園” の魅力の一部抜粋 ☆☆☆

- ① 子供がのびのび明るく過ごせる
- ② 先生たちに話しかけやすい、親身になってきちんと対応してくれる

- ③ 地域と積極的に交流がもたれている
- ④ 親にも親切（役員等が無く行事はすべて先生たちで準備してくれる）
- ⑤ 男性保育士が多く、体を使った遊びも取り入れてくれる
- ⑥ 日、祝日保育がされていて、働く親に寄り添ってもらえる
- ⑦ いつも園長先生から挨拶し、玄関に立って来て話やすく開かれている
- ⑧ 給食が美味しい

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
----	--------------------------------------	-------

<コメント>

苦情解決の仕組みを構築し、苦情解決責任者：園長、担当者：主任保育士、第三者委員として弁護士、心理療法師の2名（電話番号も明記）を指名し、玄関に掲示したり、「入園のしおり」に記載したりして、保護者に周知しています。
『利用者からの苦情・相談対応マニュアル』（2003.5.1）を整備し、苦情を受け付けた段階からの経過記録を残す手順を記載し、職員に周知しています。

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c
----	--	-------

<コメント>

入園説明会において、クラス担任だけでなく、園長、主任など誰にでも相談できることや、玄関に「承り箱」を設置し、いつでも保護者が無記名で意見を入れることができるようにしていることを説明しています。また、相談スペースを設置し、プライバシーを守る環境で相談や意見を伝えられるよう配慮しています。

36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>

毎日の送迎時に保護者とのコミュニケーションを積極的にとり、保護者が意見や相談を切り出しやすい関係作りに努めています。「承り箱」への投函や、「連絡ノート」等も活用し、承った相談やご意見には、2週間以内に対応状況を保護者に説明することにされていて、対応に時間がかかる場合には、その旨を伝える仕組みとしています。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
----	---	-------

<コメント>

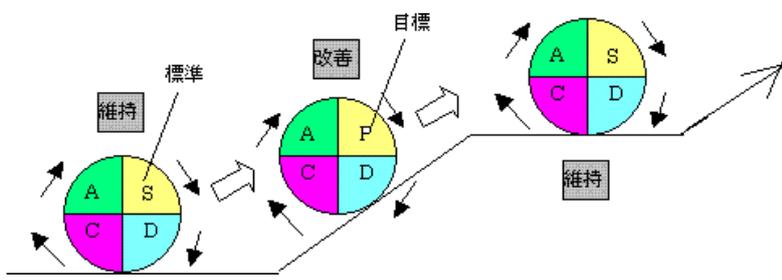
事故発生時、不審者侵入時などの管理体制があり、対応の仕方や「フローチャート」を職員に配布したり、見えやすい場所に掲示しています。「ヒヤリ・ハット報告書」を掲示したり、新聞の中から関わりのある保育園関連の安全情報などを抜粋して、注意喚起の為に掲示したりしています。園舎内及び園庭の遊具の「安全点検」は毎月実施し、内容・項目を年に一度見直しています。

38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、	a・b・c
----	---	-------

	取組を行っている。	
<p><コメント></p> <p>園長を責任者とし、保健衛生・安全対策の担当者を中心とする管理体制が整備されています。『市の保育所感染症マニュアル』があり、職員に周知し、それに基づいて対応しています。うがい、手洗いをしっかり行うように指導し、消毒や滅菌を行い予防しています。感染症が市内や園内で発生した場合は、玄関の掲示板に感染症情報を掲示したり、「ほけんだより」にも掲載しています。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>10年以内に20～30%の発生確率とされる南海トラフ大地震への減災対策は、『災害時対応マニュアル』があり、ハザードマップから震度や被害状況を想定し、ロッカーなどの設備の倒れ防止処置やピアノの耐震用のインシュレーター（キャスター受け皿）を取り付けています。</p> <p>よいこネットでのメール一斉送信サービスや、「緊急連絡票」を使用して、保護者に連絡を取ることを、すべての職員に周知しています。保健衛生・安全対策の担当者が食料や備蓄品の「一覧表」を作成し整備しています。毎月避難訓練を行い、消防署に通報訓練を行ったり、警察と不審者対応訓練を実施しています。</p> <p>このような日頃の備えが、2018年6月18日朝7時58分頃に発生した大阪府北部地震（Mマグニチュード6.1：宝塚市震度4）の減災に役立っていました。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>『児童福祉施設給食の手引き』に食中毒発生時の対応についての記載があり、園長が会議で職員に周知しています。</p> <p>参考) 食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年6月13日公布）の概要</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000197196.html</p>		
41	Ⅲ-1-(5)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>『不審者の侵入時における対応マニュアル』があり、マニュアルに基づく職員への研修、及び2/21（木）危険物を持った不審者の侵入を想定した防犯訓練を行っていました。年に一度、あらかじめ定めた12月に『マニュアル』の見直しを行っています。</p> <p>また、2018年11月実施の保護者アンケート結果を分析し、乳児の保護者のデータから、「不審者侵入対策」に対する取組み方の見直しをされ、門に貼り付けている注意事項を新しいシールに書き直したり、門扉のドアの開錠方法の変更を次年度に計画されています。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
42	Ⅲ-2-(1)-① 教育・保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉞・b・c
<コメント> 『園の統一事項』、『各クラスの統一事項』、『子どもたちの生活の流れについての統一事項』等の各種マニュアルが定められており、段取りや配慮・注意事項が記載されています。職員同士での話し合いや個別の指導によって職員に周知するようにしています。また、定期的に園長、主任保育士が各クラスを巡回し、チェックし、子どもやその時の状況に合わせて臨機応変に対応しています。		
43	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉞・b・c
<コメント> 『園の統一事項』、『各クラスの統一事項』の定期的な見直しは、毎年4月、『市の保育所感染症マニュアル』、『児童福祉施設給食の手引き』の定期的な見直しは、毎年11月に実施し、『利用者からの苦情・相談対応マニュアル』、『不審者の侵入時における対応マニュアル』の定期的な見直しは、毎年12月というように、マニュアルの見直し時期をあらかじめ決め、主任保育士を中心に職員会議で実施しています。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
44	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㉞・b・c
<コメント> 「指導計画」（日誌、月案、年間指導計画）は、「全体的な計画」の主旨に沿って、各クラス担任が作成し、園長、主任保育士が確認し、期毎、毎月、毎日、評価と改善点を記載し、職員間で共有し、アセスメントを行っています。食育・アレルギー対応、安全対策・保健衛生、保護者支援・子育て支援などの分野別担当があり、相談・助言し、教育・保育のための協議を行っています。障がい児は、健常児の記録とは別に課題を立てて記録を残しています。要保護の子どもは、市の家庭児童相談室の担当者と連絡を取り合い、教育・保育の提供の方法についても話合っています。		
45	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉞・b・c
<コメント> 「指導計画」（日誌、月案、年間指導計画）の見直しをあらかじめ定めた時期に実施し、保育に変更があった場合などに『統一事項』も見直し、改訂しています。指導計画を変更する際は、園長、主任の確認を得る仕組みとし、変更した指導計画の内容を職員会議で周知しています。P（Plan・計画策定）→D（Do・実行）→C（Check・評価）→A（Act・見直し）のサイクルを継続して実施することで、「指導計画」の質の向上を図っています。		



Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

46	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する教育・保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉓・b・c
----	---	-------

<コメント>

子どもに関する記録は、「児童票」や「個人記録」（健康診断、予防接種、身体測定、既往歴、SIDS、登園時の健康の記録、疾病記録、怪我記録、事故記録等）を作成しています。指導計画は4期、児童票は3期に分けて発達状況を記載しています。園長、主任保育士がその記録内容や書き方のバラつきを最小限にするため、定期的にチェックし、指導計画通りに保育サービスが提供できているか観察しています。また、職員会議やミニ職、ボードにより各クラスの連絡事項などを全職員が確認出来るようにしています。

47 Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。

47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉓・b・c
----	----------------------------------	-------

<コメント>

『個人情報取扱規定』（2018.10.1）に子どもに関する記録の管理方法や体制の記載があり、目的外利用の禁止、個人情報へ不正アクセス、紛失、破棄、改ざん及び漏洩防止等のルールを定め、「児童票」5年、「保育要録」6年、「卒園児台帳（名簿）」永久と保管期間を定め、職員へ教育を行っています。

今年度末には、職員個人の自己評価に項目を設け、理解度を確認していく予定です。

保護者には、入園時や保護者に個人情報の保護と情報の開示の方法を伝え手紙を配布し、同意書にサインを得ています。

参考）子保発0330 第2号 平成30年3月30日付け 厚生労働省子ども家庭局保育課長

保育所保育指針の適用に際しての留意事項 保育所児童保育要録の取扱いについて

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000202911.pdf>

- ・個人情報の保護に関する法律第2条第5項に規定する個人情報取扱事業者に該当し、原則として個人情報を第三者に提供（小学校に送付）する際には本人の同意が必要となるが、保育所保育指針第2章の4（2）ウに基づいて保育所児童保育要録を送付する場合には、同法第23条第1項第1号に掲げる法令に基づく場合に該当するため、第三者提供について本人（保護者）の同意は不要であること。

- ・保育所においては、作成した保育所児童保育要録の原本等について、その子どもが小学校を卒業するまでの間（6年間）を保存することが望ましいこと。

評価対象A 実施する福祉サービスの内容

A-1 教育・保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程（全体的な計画）の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育園の理念、教育・保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程（全体的な計画）を編成している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた教育・保育を行っている。	Ⓐ・b・c
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする教育・保育を展開している。	Ⓐ・b・c
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の教育・保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる教育・保育のための環境を整備し、教育・保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、教育・保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	Ⓐ・b・c
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ・b・c
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	Ⓐ・b・c

特記事項

- (1) 「全体的な計画」は、改訂『保育所保育指針』に明記されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目を、各年齢ごとの具体的なねらい・内容に組み入れ、きめ細かく編成されています。改訂初年度の計画作成で、分かりやすい表現に整理するなど試行錯誤しながら作成されたと思われる力作です。今年度末には全職員参画のもと、丁寧な評価・見直しを行い、次年度に活かしていかれることを期待します。
- (2) 室内環境は、遊び、食事、排泄・着替え、睡眠のスペースを定め、子どもと大人の動線に無駄がないように配置し、清潔で心地よく過ごせるように配慮されています。
- (3) 年間行事に、例年行っている地域交流事業以外に、子どもたちが多様な文化、様々な人的環境に触れることができるようにとの願いのもと、特別体験行事を積極的に取り入れています。今年度は、「ごはん塾」「スケート場体験」「大道芸猿回し鑑賞」等を体験しました。
- (4) 外部講師による「体育遊び」「英語であそぼ」「キッズダンス」を保育内容に組み入れています。それと連動して、保育士は日常保育において、子どもの体幹を鍛え、バランス感覚を健やかに育てる支援ができるように、体づくりを日常の保育に取り入れる工夫をしています。
- (5) 異年齢交流は、日々の保育の中での自然な交流を大切にしています。広い園庭での異年齢による子ども同士の関りや、毎月1回開催している「なかよし会」は、当園の保育目標にも掲げられている「思いやりがあり仲よく遊ぶ子ども」の育成を目指す機会と位置づけて取り組むなど、子ども同士の関係をつなぐ環境づくりや援助を大切にしています。
- (6) 『大量調理施設衛生管理マニュアル』（平成29年6月16日改訂）に沿った衛生管理を実施し、「厨房健康観察表」にて11項目の日々の調理員の記録を確認しました。また、厨房で使用している中心温度計の校正状況を確認しました。

食育に対する取り組み

- ◎ 自分たちで3時のおやつ作りをし、食べることを楽しめるようメニューにおにぎりやサンドイッチを取り入れ、調理員も関わりをもちながら、出来上がりまでの工程を知らせている。
- ◎ 子どもの目の前で果物の皮をむいたり切って、果物本来の形を知ったり、匂いを感じたりすることで、食材に対する興味や関心につなげている。
- ◎ 市の献立に基づいてメニューを組む中で、特に行事食や旬の食材を用いた献立、地域に根ざした郷土料理も取り入れることで、その時々味わうことができる体験を大切にしている。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1)	家庭との緊密な連携	
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ・b・c
A-2-(2)	保護者等の支援	

A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c

特記事項

	<p>(1) 家庭との連携を深め、一人ひとりに寄り添った子育て支援をしていくために、日々の送迎時での応対、個別の「連絡帳」による記録が丁寧に行われています。園長・主任が、毎朝門前に立ち、笑顔でお出迎えする姿勢は、保護者から信頼を得る取組の一つであると思われます。</p> <p>(2) 保育参観、保護者懇談会の参加者が少数です。年度当初に、年間行事計画においてクラス別保育参観・懇談会等を1～2回を設定し、保護者の参加意欲を高める発信をしたり、また、個人別懇談については、保護者の就労等に配慮して、期間、時間帯を保護者の立場に寄り添って様々に工夫するなど、全保護者と懇談することを目標にして、積極的に働きかけることが求められます。</p>
--	---

A-3 教育・保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 教育・保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、教育・保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c

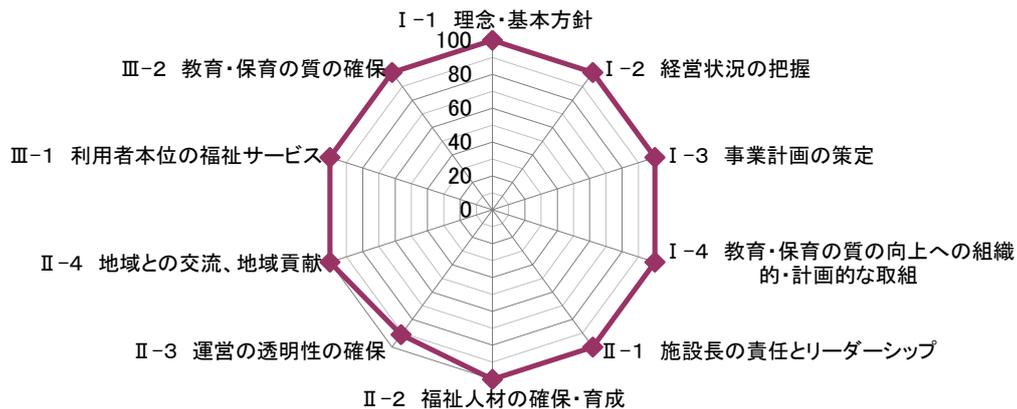
特記事項

	<p>(1) 各種研修に参加しやすい職員間の連携が築かれています。また自主研修会にも積極的に参加して持ち帰り、職場研修として取り組むなど、研修内容を共有し、実践に結び付けるための機会がありました。</p> <p>(2) 外部講師を招いて保育内容に取り入れている体育、英語、キッズダンス等では、保育士自身がその実践と理論を学び、日々の保育に活かしていけるように研鑽しています。</p>
--	---

以 上

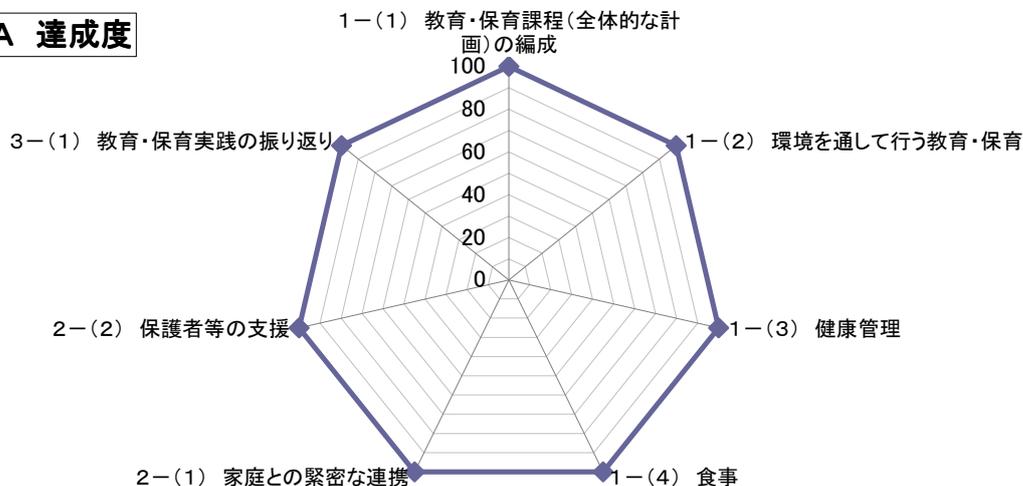
I～III章 園の運営管理 達成度	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
I-1 理念・基本方針	7	7	100.0
I-2 経営状況の把握	8	8	100.0
I-3 事業計画の策定	17	17	100.0
I-4 教育・保育の質の向上への組織的・計画的な取組	9	9	100.0
II-1 施設長の責任とリーダーシップ	17	17	100.0
II-2 福祉人材の確保・育成	38	38	100.0
II-3 運営の透明性の確保	11	10	90.9
II-4 地域との交流、地域貢献	27	27	100.0
III-1 利用者本位の福祉サービス	74	74	100.0
III-2 教育・保育の質の確保	33	33	100.0

I～III 達成度



A章 教育・保育実践 達成度	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
1-(1) 教育・保育課程(全体的な計画)の編成	5	5	100.0
1-(2) 環境を通して行う教育・保育	64	64	100.0
1-(3) 健康管理	17	17	100.0
1-(4) 食事	15	15	100.0
2-(1) 家庭との緊密な連携	4	4	100.0
2-(2) 保護者等の支援	13	13	100.0
3-(1) 教育・保育実践の振り返り	6	6	100.0

A 達成度



宝塚さくら保育園 段取り表

0 プロセス 合同段取打合せ	*第1回 自己評価サポート (90分)	保護者アンケート (配布～回収 14日)			★ 第2回 自己評価サポート (90分)	自己評価 弊社送付	◎ 訪問調査 評価者3人 AM9:30～PM3:30	是正確認 (14日以内)	報告書 (案) 送付	WAMNET 結果公開
		配付 家庭	回収 100%	弊社へ 郵送						
8/30 (木) 済 PM7:30～9:30 於：宝塚さくら 保育園	9/27 (木) 済 PM6:00～ 7:30	11月 済 100%回収	高評価	12/18 (火) 済 PM6:00～ 7:30	1/30 (水) 済	2 / 25 (月) 済	3/14 (木) 済	3/14 (木) 済	3/23 (土) 済	

★ 自己評価サポート 第2回 2018年12/18 (火) PM6:00～7:30



◎ 訪問調査 2019年 2/25 (月) AM9:30～PM3:30 園長、主任保育士、副主任保育士 緊張の瞬間 ⇒ 成長の証し



宝塚さくら保育園 恒松 静香 園長殿 木村主任、大山主任、西尾副主任殿

いつもお世話になります。訪問調査 2019年2月25日 (月)の段取りを ご送付致します。

訪問調査計画書

- ポイント (1) 兵庫県の評価基準 67項目に沿った仕組みがあるか、機能しているか
 (2) 業務は標準化されているか、改善は進んでいるか
 (3) 客観性(マニュアル、記録、掲示、習慣)は確保されているか、説明責任を果たせるか

2019年 2月25日 (月)

評価員	加藤 文雄 (HF10-1-002)	リーダー 吉山 浩 (HF05-1-0098)	主任保育士 (HF15-1-004)
9:30	ご挨拶 ①弊社より本日の進め方等のご説明 ②園長より力を入れて取り組んでいる点の説明 ③園内見学		
10:15	I章 基本方針と組織 (9項目) II章 組織の運営管理 (18項目)	III章 適切な福祉サービスの実施 (20項目) 及び III章 40 食の衛生管理、 A章 A14 アレルギー対応 A16 食事提供 【 栄養士・調理師項目 】	A章 教育・保育実践 (20項目) 【 栄養士・調理師項目を除く 】 〔 教育・保育状況観察 を含む 〕 0歳～5歳児 各部屋を随時
昼食	園児と一緒に給食 (当日現金で3人分お支払いします)		
午後 13:00	(上記の続き)	(上記の続き)	(上記の続き)
14:50	評価員3名で打合わせ (*どこか打合用スペースの確保をお願いします)		
15:10	最終会議 (本日の結果のご説明)		
15:30			

★ 保育理念、保育方針、保育目標、遵守すべき法令7個が職員に周知徹底されているか、全員に聞き取り致します

☆ お昼は、園児と一緒にそれぞれ別のクラスで給食を御手配お願い申し上げます

補足) 子ども中心のご対応でOKです ①終了予定時間15:30頃 ②適宜、休憩時間を取ります ③当日 9:20頃伺います

注1) 自己評価表は、2/8(金)迄に、メール添付でご提出下さい。

注2) 1-力を入れて取り組んでいる点 及び 2-食育の取組み は、当日2/25朝に3部お渡し下さい。

宝塚さくら保育園 5歳児 ライオン組 アンケート結果 1

2018年11月 総家庭数 21家族 21回収/21件 回収率 100%

I 保育園の理念・方針 について							
1	保育園の理念・方針をご存じですか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		⑤	④	3	2	1	
		よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	
		0	14	3	3	1	0
2	問1で「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方 その理念・方針は賛同できるものだと思いますか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		5	4	3	2	1	
		賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	
		12	2	0	0	0	0
3	問1で「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方 日頃の教育・保育は、その理念・方針と一致していますか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		5	4	3	2	1	
		一致している	まあ一致している	どちらともいえない	あまり一致していない	一致していない	
		9	5	0	0	0	0

宝塚さくら保育園 5歳児 ライオン組 アンケート結果 2



2018年11月 総家庭数 21家族

21回収/21件 回収率 100%

No.	質 問	保護者さまの回答 (人)				
		5	4	3	2	1
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
Ⅱ 入園する時の状況						
4	見学は、快く受け入れてくれましたか。	17	1	0	1	2
5	入園前の見学や説明など、園からの情報は得やすかったですか。	18	2	0	0	1
6	入園時に、個別の面接はありましたか。	21	0	0	0	0
7	お子さんの様子や生育歴などをしっかりと聞いてくれましたか。	21	0	0	0	0
8	園の理念や方針、こども園での1日の過ごし方などについて十分な説明がありましたか。	21	0	0	0	0
9	費用やきまり、持ちものなどについて十分な説明がありましたか。	19	2	0	0	0
10	入園前の説明について、入園後の食い違いなどはありませんでしたか。	20	0	1	0	0
Ⅲ 年間の教育・保育や行事						
11	年間の教育・保育や行事について、十分な説明がありますか。	19	2	0	0	0
12	年間の教育・保育や行事には、保護者の要望が活かされていますか。	16	3	1	1	0
Ⅳ 「遊び」について						
13	園の遊びに、お子さんは満足していると思いますか。	18	3	0	0	0
14	園のおもちゃや教材は、お子さんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか。	18	2	0	1	0
15	お子さんの発達や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていると思いますか。	17	3	0	1	0
16	自然に触れたり地域に関わるなどの散歩や屋外活動は、十分に行われていると思いますか。	20	1	0	0	0
17	遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか。	20	1	0	0	0
18	遊びを通じて物を大切に作る心や思いやりの心を育む指導がなされていると思いますか。	18	2	0	1	0

宝塚さくら保育園 5歳児 ライオン組 アンケート結果 2



2018年11月 総家庭数 21家族

21回収/21件 回収率 100%

No.	質 問	保護者さまの回答 (人)				
		5 はい	4 どちらとも いえない	3 いいえ	2 わからない	1 未記入
V 「生活」 について						
19	昼寝や休息は、お子さんの状況に応じた対応がされていると思いますか。	19	1	0	1	0
20	トイレトレーニングについては、家庭と協力しながらお子さんの成長に合わせて柔軟に取り組んでいますか。	19	2	0	0	0
21	お子さんの体調について、常に心配りされていると思いますか。	18	3	0	0	0
22	献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていきますか。	21	0	0	0	0
23	給食のメニューは充実していると思いますか。	21	0	0	0	0
24	お子さんは給食を楽しんでいると思いますか。	19	2	0	0	0
25	一人一人に適した量やその日の体調に合わせた調理方法等の配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	3	0
26	食事への配慮が必要な場合(離乳食、アレルギー等)、保護者との十分な連携がとれていると思いますか。	18	0	0	3	0
VI 快適さ や 安全対策						
27	園舎・園庭などの施設に満足していますか。	16	4	1	0	0
28	お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっていますか。	16	3	1	1	0
29	外部からの不審者侵入に対する備えは万全だと思いますか。	13	8	0	0	0
30	お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか。	1	1	18	1	0
31	衛生管理や感染症対策は適切に行われていると思いますか。	15	4	1	1	0

宝塚さくら保育園 5歳児 ライオン組 アンケート結果 2



2018年11月 総家庭数 21家族

21回収/21件 回収率 100%

No.	質 問	保護者さまの回答 (人)				
		5 はい	4 どちらとも いえない	3 いいえ	2 わからない	1 未記入
VII 園と保護者との連携・交流						
32	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会は十分だと思いますか。	15	4	0	0	2
33	園だよりや掲示、連絡帳などにより、園の様子や行事について十分な情報提供がありますか。	18	1	0	0	2
34	園の行事の開催日や時間帯は、保護者が参加しやすいように配慮がされていますか。	17	2	0	0	2
35	登園時やお迎え時に、お子さんの様子についての確認・説明がありますか。	13	4	2	0	2
36	子育てに関する気がかりな点や悩み等について、気軽に個別相談ができますか。	15	4	0	0	2
37	開園時間内であれば、急な残業や不定期な業務に対して柔軟に対応してくれますか。	18	0	0	1	2
38	連絡網などにより、緊急時の連絡体制はきちんととれていますか。	16	1	0	2	2
VIII 教諭の対応						
39	あなたのお子さんは園の生活を楽しんでいると思いますか。	17	2	0	0	2
40	担当教諭はお子さんの良いところや個性を認めていますか。	18	0	0	1	2
41	教諭の教育・保育姿勢や対応はだいたい同じ(ばらつきが少ない)ですか。	11	3	3	2	2
42	園長や教諭に対して不満や要望を気軽に言うことができますか。	12	6	1	0	2
43	不満や要望には的確に応えてくれますか。	11	5	0	3	2
44	教育・保育中の急な発熱や病気、事故等に対して、責任を持って適切に対応していますか。	17	2	0	0	2
45	アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮は、十分なされていると思いますか。	12	1	1	5	2

【 I 保育園の理念・方針について】

1, 保育園の理念・方針をご存じですか？



- よく知っている
- まあ知っている
- どちらともいえない
- あまり知らない
- まったく知らない
- 未記入

「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方

2, その理念・方針は賛同できるものだと思いますか？



- 賛同できる
- まあ賛同できる
- どちらともいえない
- あまり賛同できない
- 賛同できない
- 未記入

3, 日頃の教育・保育は、その理念・方針と一致していますか？



- 一致している
- まあ一致している
- どちらともいえない
- あまり一致していない
- 一致していない
- 未記入

宝塚さくら保育園 5歳児 ライオン組 アンケート結果 グラフ 2

はい どちらともいえない いいえ わからない 未記入

【Ⅱ 入園する時の状況】

4, 見学は、快く受け入れてくれましたか



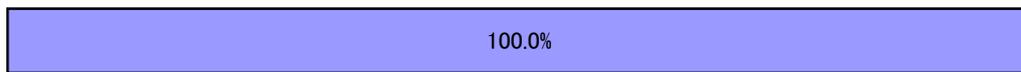
5, 入園前の見学や説明など、園からの情報は得やすかったですか



6, 入園時に、個別の面接はありましたか



7, お子さんの様子や生育歴などをしっかりと聞いてくれましたか



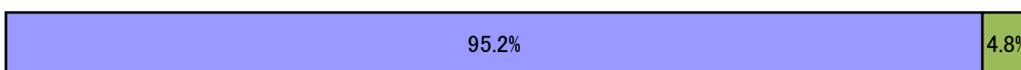
8, 園の理念や方針、こども園での1日の過ごし方などについて十分な説明がありましたか



9, 費用やきまり、持ちものなどについて十分な説明がありましたか



10, 入園前の説明について、入園後の食い違いなどはありませんでしたか



宝塚さくら保育園 5歳児 ライオン組 アンケート結果 グラフ 3

はい
 どちらともいえない
 いいえ
 わからない
 未記入

【Ⅲ 年間の教育・保育や行事】

11, 年間の教育・保育や行事について、十分な説明がありますか。



12, 年間の教育・保育や行事には、保護者の要望が活かされていますか。



【Ⅳ 「遊び」 について】

13, 園の遊びに、お子さんは満足していると思いますか。



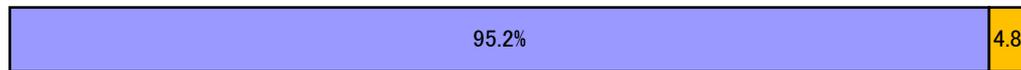
14, 園のおもちゃや教材は、お子さんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか。



15, お子さんの発達や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていると思いますか。



16, 自然に触れたり地域に関わるなどの散歩や屋外活動は、十分に行われていると思いますか。



17, 遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか。



18, 遊びを通じて物を大切にする心や思いやりの心を育む指導がなされていると思いますか。



宝塚さくら保育園 5歳児 ライオン組 アンケート結果 グラフ 7

はい
 どちらともいえない
 いいえ
 わからない
 未記入

【Ⅷ 教諭の対応】

39, あなたのお子さんは園の生活を楽しんでいると思いますか。



40, 担当教諭はお子さんの良いところや個性を認めていますか。



41, 教諭の教育・保育姿勢や対応はだいたい同じ(ばらつきが少ない)ですか。



42, 園長や教諭に対して不満や要望を気軽に言うことができますか。



43, 不満や要望には的確に応えてくれますか。



44, 教育・保育中の急な発熱や病気、事故等に対して、責任を持って適切に対応していますか。



45, アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮は、十分なされていると思いますか。



【Ⅸ 総合満足度】 5段階評価 4.9

満足
 やや満足
 どちらともいえない
 やや不満
 不満

